

CSRマネジメント

基本方針

CSRに関する課題、取り組み方針などは各担当委員会において議論され、全社としてCSR活動を推進しています。「遵法」と「安全」を最優先課題とし、リスクマネジメントを徹底した事業活動を通じ、企業の社会的責任を果たします。

中期CSR・環境計画

中期経営計画に基づいたCSR・環境計画を策定し、中期経営計画の重点施策である「体質改善」「生産性改革」「新たな収益基盤の確立」を軸に「環境」「社会」「経済」を統合させ、サステナブルな社会（より良い社会）の構築を推進していくという基本方針

のもと、実施項目を設定しています。持続型社会・経営の実現に向け、実施項目は今後の社会情勢の変化や取り組みの進捗、ステークホルダーからのご意見を踏まえて継続的に見直していきます。

中期CSR・環境計画実施項目

社会

体質改善

- ① 法令遵守の徹底
- ② 環境教育の実施
- ③ 品質管理の徹底

2021年度成果

- ① 法令遵守の徹底
 - 環境関連の重大事故の発生：0件
- ② 環境教育の実施
 - 各階層別教育率：100%
 - 新入社員研修実施：5回／年
- ③ 品質管理の徹底
 - 品質の重大不具合：0件

環境

生産性改革

- ① 脱炭素社会に向けた取り組み
- ② 循環型社会(CE^{※1})の構築に向けた取り組み
- ③ 生物多様性保全の取り組み

2021年度成果

- ① 脱炭素社会に向けた取り組み
 - エネルギー使用量削減(バイオマス燃料の使用、高効率バーナーの利用等)
 - 関東3支店CO₂フリー電力の導入(17,700t削減見込み)
- ② 循環型社会の構築に向けた取り組み
 - 廃棄物の再資源化率：96.6%
- ③ 生物多様性保全の取り組み
 - 小笠原において固有種の保全活動に着手

経済

新たな収益基盤の確立

- ① 新商品・新製造技術
- ② 自社既存技術の活用と環境共有価値の創造
- ③ 事業活動におけるSDGs^{※2}の浸透

2021年度成果

- ① 新商品・新製造技術
 - 低炭素素材の製造・販売を開始(朝霞・広島合材工場)
- ② 自社既存技術の活用と環境共有価値の創造
 - フォームドアスファルト混合物の設備導入：44工場
- ③ 事業活動におけるSDGsの浸透
 - 社内冊子やイントラネットで会社の取り組みを社員に発信
 - eco検定の社内資格への登録認証

※1 資源循環の効率化だけでなく、原材料に依存せず、既存の製品や遊休資産の活用などによって価値創造の最大化を図るというEUで提唱された経済システム。

※2 国連加盟193カ国が2016～2030年の15年間で地球規模の問題を解決するために掲げた国際目標。17の目標と169のターゲットで構成される。

ステークホルダーエンゲージメント

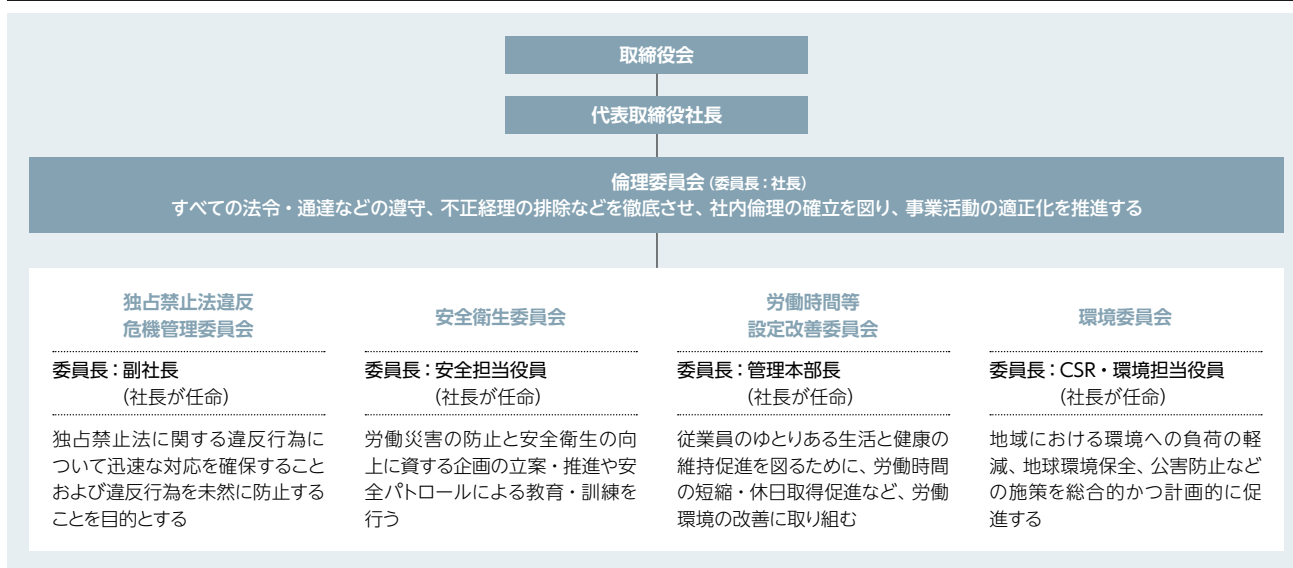
ステークホルダーからのご意見・ご要望を確認し、その中から抽出したニーズや課題を可能な範囲で事業活動に反映させ取り組むことは、当社とステークホルダーの相互理解を深め、また持続的経営にもつながります。当社では、ステークホルダーと双方向で対話するためのさまざまな場を設けています。なお、当社にお問い合わせいただいたご意見で早急に対応が必要な事案は、管轄部門で対応しています。

ステークホルダーとの双方向対話手法

- ① **お客様**
 - 営業活動 ● お客様アンケート
 - 情報シート(各事業所へ直接の意見・情報提供)
- ② **従業員**
 - 労働組合との団体交渉 ● 意識調査
- ③ **協力会社・資材調達業者**
 - 共栄会、歴友会*評価表 ● 安全衛生協議会
- ④ **地域社会・住民**
 - 工場、現場において、近隣住民や行政を対象とした見学会や研修会実施

※ 当社の依頼業務を主体として協力し、会員要件を満たす協力会社。工事部門は共栄会、製造部門は歴友会。

CSR推進体制



年4回開催される「環境委員会」に加え、各部門出席のもと、毎月「CO₂削減会議」を開催しています。各部門における取り組み状況の共有および部門間連携の機会となっており、本会議を通じて、環境負荷の軽減、地球環境保全、公害防止などの施策を計画的に推進しています。



毎月開催する「CO₂削減会議」

マネジメントシステムの推進

人と環境にやさしい事業活動を目指し、産業廃棄物の循環をはじめ、資源・エネルギー問題における環境保全活動を事業活動のあらゆる場面で取り入れながら、持続可能な社会の構築に向けて取り組んでいます。

当社のマネジメントシステム ※ 2021年9月の再認証審査およびサーベイランスで、本店および全支店で認証を維持しています。

	適用範囲	適用部署
環境マネジメントシステム (ISO14001)	舗装及び土木構造物の施工並びに合材及び再生材の製造	一部のJV事業を除くすべての部署
品質マネジメントシステム (ISO9001)	公共工事における舗装及び土木構造物の設計及び施工	営業所、作業所、工務部、技術部、営業部(支店) 工事事業本部、第一営業部、PPP・PFI事業部、CSR・環境部(本店)
労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)	舗装及び土木構造物の施工並びに合材及び再生材の製造	一部のJV事業を除くすべての部署

SDGsへの取り組み

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するべく、当社の企業活動とSDGsの各テーマを紐付けた9つの重要テーマを特定し、2016年より製品開発や制度改定を行っています。重要テーマは、「既存の取り組み・体制」の認識、「今後必要な技術・取り組み・体制」の検討、「リスクと機会」の整理などを行ったワークショップを通じて、社員自らがディスカッションしたものです。引き続き、全社をあげて取り組みを推進していきます。

前田道路の重要テーマ

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ① 都市型の降雨災害の抑制 | ⑤ リサイクル事業の促進 |
| ② 暮らしに寄りそう道路環境の整備 | ⑥ 公正な事業慣行・コンプライアンス |
| ③ アクセシビリティ・ユニバーサルデザインへの対応 | ⑦ ヒートアイランド現象の緩和 |
| ④ エネルギー使用量の削減・省エネ技術の拡充 | ⑧ 工場周辺の環境配慮 |
| | ⑨ ダイバーシティ |

気候変動イニシアティブに参加

当社は、2015年に合意されたCOP21パリ協定の2°Cシナリオに貢献することを重要視しています。2021年4月には「気候変動イニシアティブ(Japan Climate Initiative)」に参加し、気候変動に対する進捗状況についてCDP(企業や自治体に対

して、環境問題への取り組み促進や情報開示を求める活動を行う非営利団体)に回答しています。2021年度は気候変動Bの評価となりました。引き続き、地球環境保全と経済的成長の両立により、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

● 温室効果ガス排出削減

2021年度の自社CO₂排出量は286,042t-CO₂、排出削減率は2013年度比で16.5%となりました。2021年度よりCO₂排出量算定の精度を上げたことにより、2013年度からの数値も見直しています。

また、2021年度には2030年度までのCO₂排出量削減目標を見直し、2013年度比-50%へと目標を引き上げました。2050年度カーボンニュートラルの達成に向け、各部門での取り組みをさらに推進していきます。

CO₂排出量実績および中期目標

